



題字・天野貞祐

第 100 号

令和 5 年 6 月 5 日発行

発行所 〒 112-0014 東京都文京区関口3-8-1

TEL / FAX 03 (3946) 6352 (直通)

獨協同窓会 発行責任者 木原正義

主な内容

独協通信 100 号記念 歴代会長による懇談会	新井雅安	(1)
令和 5 年度 総会・講演会・親睦会 開催のご案内		(5)
令和 5 年度 通常総会 議案書		(6)
目白だより 2023 年度 大学入試合格者数	齋藤有子	(8)
独協通信と獨協同窓会の歴史について	木田宏海	(10)
OB 講演会 報告		(12)
連載 ドイツ 留学記 ③	都築 修	(14)
獨協という絆	瀬島克之・川村拓斗	(16)
獨協ぶらり旅	木田宏海	(18)
クラス会だより		(19)
私の近況 卒業 10 年		(23)



<http://www.dokkyo-mejiro.com> <https://www.facebook.com/groups/297418860299984/>

独協通信100号記念 歴代会長による懇談会

副会長 新井雅安 (昭和 46 年卒)

令和 5 年 3 月 11 日 (土) 母校の同窓会室において、歴代会長による独協通信 100 号記念懇談会を開催しました。ご参加いただいたのは宮田和夫元会長 (S24 卒) 鈴木莊太郎元会長 (S35 卒) 浅野一前会長 (S42 卒) 木原正義現会長 (S47 卒) の 4 名で浅野前会長は都合によりリモートで参加されました。途中より、上田善彦校長 (S47 卒) も加わり、母校の現状、歴代会長からの質問についてもお答え頂きました。

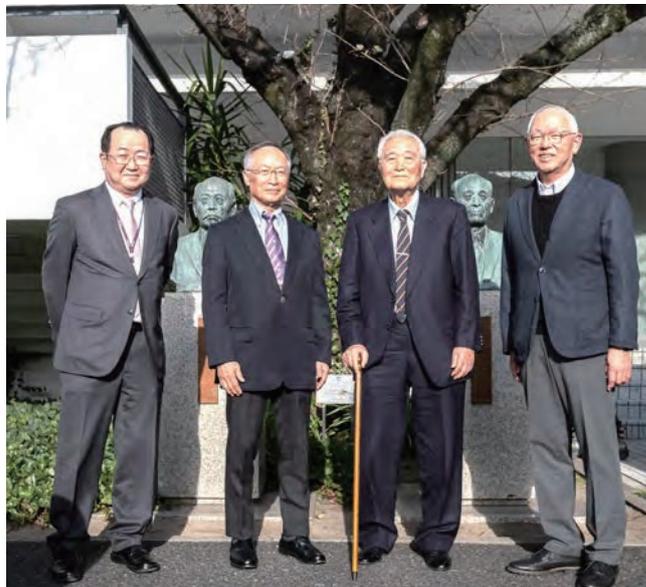
司会の新井です。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

只今より、独協通信 100 号記念懇談会を開催させていただきます。テーマは、独協通信の思い出、会長時代にご苦労されたこと、今後の同窓会のあり方についてお話をいただきたいと存じます。皆様よろしくお願ひ申し上げます。それでは宮田さんからお願い致します。

宮田 和夫 元会長

私が同窓会に関与したのは、平成 9 年からです。平成 11 年に友人の久保田君が亡くなり、その後任として副会長に指名され、翌 12 年に菅野会長が辞され、会長に就任することになったのです。此の頃の思い出は先に 97 号に載せました。

独協通信 100 号ですか、おめでとうございます。独協通信は永らく途絶えていたのを、北浜先生が広報委員だった昭和 48 年にご苦労の末、第 1 号を発行さ



左から、上田善彦校長、鈴木莊太郎氏、宮田和夫氏、木原正義会長 懇談会後に撮影 2023年3月11日

れ以後連綿と発行されて 50 年、遂に 100 号なんです。

独協通信では幾つかの思い出があります。あの頃は中高一貫教育に移行してまだ何年も経っていない頃でしたが、最近進学率が低迷しているのではないかと、官立大学へのチャレンジや医歯界への進学が低いといった OB の声寄せられ、これを取り上げて「志を高く掲げよ後輩諸君」と問題提起したのです。次号で「志

を高く掲げよに込めて」と題して、永井校長が具体的教育論を展開されました。



会長当時の同窓会を熱く語る宮田和夫氏（S24卒）

今年は創立140周年になりますが、私の時は丁度120周年でした。記念式典は新高輪プリンスホテルで盛大に行われました。第二部の冒頭で同窓会長として挨拶したのですが、壇を下りると中年の夫人が近付き「関ですが、主人のことに言及して戴き有り難うございました。ついては、お話の原稿があったら、仏壇に供えたいので頂戴したい」と云われ、大変驚き恐縮して、挨拶全文を載せた独協通信をお送りしたということがありました。

それから、独協通信の編集に携わったのは前半が雪山伸一さん（S35年卒）、後半が竹内文生さん（S46年卒）です。2人とも大変優秀な方ですが、雪山さんはプロのジャーナリスト（朝日新聞記者）でジャーナリスト魂とでも云うのでしょうか、戦時中の台湾からの留学生を掘り起し、5人のOBの方と連絡が取れて、新宮先生（獨逸学協会学校の研究で博士号を取得）と一緒に、台湾に出張取材をして、「戦争に翻弄された青春」と題して2号に亘り、その手記を載せています。

それから会長として念願だった学内同窓会室の設置、事務局員の駐在と、漸やく活動拠点を確保することが出来たこと、新世紀に臨み、内部体制の整備充実にも努めました。執行部の皆さんのボランティア精神のお陰で、成果はあったと思っています。

苦労したのは財政面ですね。なにしろ新校舎建築のための寄附で、財産が半減していたので。独協通信で訴えてもなかなか会費は増えない。ところが、2005年、2010年と5年毎に会員名簿を発行したら、年会費が15%増え、800万円を超えました。然し、その後は又減ってしまう。現在は個人情報等により名簿の発行は出来ないが、現状年会費と独協通信作成費の乖離があり過ぎますよね。今、発行部数はどれくらいですか。1万6千部で年会費の納入は13%ですか。低いですね。独協通信は会員相互の親睦、また広報活動としても必要ですよ。

提案ですけど、会員情報は、コンピューターに入っ

ていますので、例えば居住地等分析をして、地方の会員の方が中央と比べてデメリットを感じ、年会費納入率が低くなっていると判断される場合は、年会費の引き下げを検討してもいいのではないかと。また、20年、30年、年会費は勿論寄附も一度もしていない方には、独協通信の送付を取り止め、ホームページの活用を考えるよう検討することも必要だと思います。

鈴木 荘太郎元会長

私が東邦大学に勤務していた時、宮田会長が直接教授室に来られました。私は同窓会活動を殆ど行っていませんでした。67号にも記載しておりますが、35年卒同級生の荒川君、藤田君、松島君の4人で「獨協学園ドクターズクラブ」を発足させた事が思い当たります。当時各医大には獨協会があり、私の母校日本医大でも同級生が4人おり、先輩にも各学年に数名の同窓生が在学していました。その後、後輩達も増え、学内獨協会が何度か開催され、元校長でS25年卒の奥田千秋先生を始め多くの先輩、後輩達と親しくお付き合い頂きました。

その後、各大学にあるのだから、合同してドクターズクラブを同窓会の支部活動として、獨協学園出身のドクターが親睦を深めて、母校への支援をやろうじゃないかと集まったものです。宮田会長からはドクターズクラブを立ち上げたこと、また、同窓会会長は学園本部の理事としての活動があり、その中で一番古く伝統のある獨協中高同窓会の発言権が低いので高めて頂きたいとお誘いを受け、同窓会会長をお受け致しました。



鈴木荘太郎氏（S35卒）右側

その頃、日本学会員になった時だったので、各大学の理事との関係、また、医療評価機構とか日本病院会の仕事にも携わっていたため、社会的に獨協医大の状況も含め、私立大学医学部の情報はある程度知っておりましたので、学園本部の理事会での発言もできるとしていました。

私がやったことといえば宮田会長からの財政面の維持、同窓会各役員が優秀であったので内部体制はお任せして、学園本部理事会での発言など表向きの仕事を中心だった。



浅野一氏 (S42卒) リモートで参加

また、ドクターズクラブの話が広がって、歯科医師獨協会立ち上げの機運になったと考えておりますし、同窓会本体を広げる役目は出来たと思っております。

浅野一前会長

自分の時が創立 130 周年に該当し、宮田会長時代の 120 周年から 10 年の節目に当たることから、学校より周年事業の寄附の要請があり、奨学金に対する寄附を 2 年に亘って 500 万円ずつ 1000 万円の寄附をしました。このままだと財務的な蓄積が 10 年毎 1000 万円減ってしまうことになる。それをきっかけに新たな「財務拡充寄附」と云う名称で同窓会の財務基盤を厚くする目的の寄附をスタートさせました。自分の任期残り 5 年を目標とし、独協通信でも広く呼びかけ、多くの同窓会員のご協力を頂く事が出来ました。

その後、引き続き木原会長が「宮田さんが提唱した、同窓会の運営には常に 1 億円くらいの蓄財が必要だろう」といった財務の健全化を目標に運営されていることも、同窓会の課題が世代を超え執行部に継承されていることにもなり、先人の思いをこれからも大切にしていきたいと思っております。また、独協通信の歴史の補足として、90 号の編集後記で、6 代目菅野会長による同窓会、独協通信の流れが語られているので、ご覧ください。

OB 講演会は、木原会長（当時、幹事長）のアイデアでスタートした事業ですが、第 1 回の JTB 会長の田川さんは私の 1 年先輩であります。この講演会をきっかけに一緒に食事をしたり、お付き合いをさせて頂いております。また、OB 講演会開催により同

窓会が先輩と在校生を繋げる役目をするというのは価値あることだと思います。

同窓会としてのもう一つの課題であります。名簿情報の取り扱いです。2010 年名簿発行以後も発行の要望があったのですが、時代背景もあり個人情報保護の観点から発行を見合わせていますが、卒業した時点での住所が分かっているのに同窓生同士の連絡やコミュニケーションに活用出来ていないことがやり残した事でもあります。名簿情報は同窓会の一番重要な財産なので、これを活かすことが同窓会最大の使命ではないでしょうか。

木原正義 会長

私は浅野前会長の時代に幹事長として二人三脚で同窓会の運営に携わってききましたが、当時流行語にもなった安倍総理大臣の「アベノミクス」よろしく、「アサノミクス」を掲げて色々な改革を進めてきました。全ては会員に同窓会活動に興味を持っていただき、会費納入率を高めるべく、同窓会の組織再編、財源確保（目指せ、1 億円）、主催する事業の拡大、同期会等への援助、学校側との交流等々、多種にわたり検討してきました。私が会長になってからもその路線を引き継ぎましたが、残念ながら 3 年間で新型コロナウイルス感染症の影響で総会後の親睦会等種々の事業が中止となってしまいました。そんな中で「独協通信」の刊行、獨協祭参加、WEB での会議開催等工夫を凝らして活動してきました。

浅野会長の時から続けている生徒を対象とした OB 講演会ですが、つい最近も元 JAXA の職員だった同窓生に講演していただき、生徒たちが大変関心を持ってくれました。やはり 30 代、40 代のバリバリの同窓生をお呼びした方が反応が良いと思っております。今後もこの活動を年 2 回実施したいと考えていますが、例えば、上田校長は医師（病理学者）ですが、医学に興味を持っている生徒に対して医歯薬系に進んだ OB に講演をお願いするなど、様々な業種の OB を学校側と協議して選びたいと考えております。

さて、今回「独協通信」第 100 号の刊行を記念してこのような懇談会を開催できましたことを大変嬉しく思います。ご参加いただきました元会長の皆様、そして上田校長先生。心より御礼申し上げます。

上田善彦校長

私は 47 年卒で獨協医科大学病理学教授、看護学校校長を経て、獨協学園本部に推薦され、当校の校長になって 2 年目です。以前、学園本部の監査員をしていて、各学校を回っている時に獨協中高の何名かの先生と年 1 回お会いするくらいで、ほとんど内情を知らないで来たものですから、皆さんは、偏差値上げろ、医学部入学を増やせとか云われますが、実際すぐにそうはいかず、最初の年は環境整備と云うことで、避難所の点検、防災訓練の実施、今までの連携の見直し、設備では体育館のエアコン、昇降機設置などやれる所からやって行こうと今年も継続中です。



母校玄関前

西周先生、天野貞祐先生の胸像を見守るソメイヨシノ

新校舎竣工記念に同窓会が寄贈した。(平成10年)

教育面では、午後入試が始まってから偏差値は上昇していますが、より上位を目指すためには、出口の結果をしっかりと出していかないといけないなど、大学入試に関してはこれまで以上に真摯に取り組むべく実行している最中です。教育目標である人間教育を中心に考えることは勿論ですが、学校の責任としては大学にきっちり合格させることも重要な責務だと考えています。先生方のモチベーションも上がっているため今後3年ないし4年後、国立大や難関私大を狙うような生徒がより増えると思っています。今年も国立大には、京大や新潟（医）に合格しており、まだまだ少ないですが、頑張っている生徒もおります。



限られた時間でしたが上田善彦校長にお話しをお伺いしました

- 6年一貫校となって何年か経ちますね。
卒業生の現役、浪人の割合は？
(宮田元会長)

卒業生 190 名内現役 65%、浪人 35%です。
(上田校長)

- 我々の時と同じですね。(宮田会長)
最初から4年計画と云うのも学校としてはどうか
と思います。
(上田校長)
塾ではないので、進学率ばかりに特化してもね。
難しい問題ですね。(宮田元会長)

- 今、ドイツ語組はないですか。(宮田元会長)
現在、高校1年から選択で第2外国語として70
名くらいが履修しております。ただ、2年生にな
ると減ってしまうのが現状です。(上田校長)

- せっかく獨協に入ったのだから、ドイツ語に馴染
んで欲しい、天野先生はゲーテの詩を誦んでいた
と言いますが、ドイツリートを数曲原文で教えて
欲しいと思うのですが。(宮田元会長)

今、音楽担当教師も含めて「ドイツの香り」
がする研究会の立ち上げを考えており、中
1から或いは中3からドイツ語履修1単位
を入れたらどうか検討しています。我々の
時は、音楽の上林先生にドイツの歌を教え
て頂き、今も覚えております。ドイツ語の
歌はやりたと思っています。
玄関の赤い壁の所に本校の歴史と「ドイツ
の香り」のコーナーを今年中には設置する
予定です。(上田校長)

- 今年も卒業式にドイツ大使館から大使館員
が参列して、記念品の贈呈をして頂きました。
(木原会長)
ドイツとの関係は、今、ゲーテ・インスティ
トゥートを通じて留学生の交換を行って
います。
コロナ禍で、中断しておりましたが、今年

6月にドイツから11人を迎える予定です。
獨協からもゲーテ・インスティトゥートの試験を
受け、合格するとドイツへ1か月間ホームステイ
に行けるので、現在、受験対策中です。

(上田校長)

お話し中申し訳ございませんが、そろそろお時間
になって参りました。

本日は、楽しい思い出話をさせていただきましてあ
りがとうございました。

最後になりますが、私は獨協通信の中で「獨協ぶ
らり旅」を谷田貝茂雄副会長(S51卒)と諸先輩・後
輩の所に訪問し取材させて頂いております。

取材を通して感じている事は、歴史ある母校には、
多岐の業種にわたり諸先輩・後輩が多くおり、その
方々と接すると、時期は違いますが皆同じ空間で過
ごした匂いがする印象です。(新井記)



令和5年度 総会・講演会・親睦会 開催のご案内

日時：令和5年6月17日（土曜日）

場所：獨協中学高等学校 2F 会議室

親睦会場は 椿山荘 ホテル棟 1階 ボールルーム

- 14:30 受付開始
- 15:00～15:50 【総会前特別講演会】
演者：高野宗之（平成8年卒業）
演題：獨協から宇宙へ
- 16:00～17:00 【総会】
- 18:30～20:30 【親睦会】 椿山荘 ～ホテル棟 1階 ボールルーム～

<会費> 会場受付にてお支払いください

昭和41年以前の卒業生 …………… ご招待

昭和42年～平成30年の卒業生 5,000円

令和元年～令和4年の卒業生 …… 2,000円

令和5年の卒業生 …………… ご招待

同伴者 …………… 3,000円

総会前特別講演会

【演題】：「獨協から宇宙へ」

【演者】：高野宗之（平成8年卒）



高野さんは、2023年2月18日 OB 講演会でご講演頂きました。12ページにご略歴を掲載しています。

令和5年度通常総会議案書

開催日：令和5年6月17日(土)

《 総会付議事項 》

第1号議案：令和4年度事業報告の件

第2号議案：令和4年度収支決算の件

第3号議案：令和5年度事業計画案の件

第4号議案：令和5年度収支予算案の件

第5号議案：監事補充選任の件

第1号議案：令和4年度事業報告の件

【概況】

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止策を学校と協力し継続した。
- 通常総会及び総会前特別講演会を実施した。椿山荘に於ける親睦会は中止した。
- 上田善彦校長らを囲んで幹事会を開催し、情報交換会を開催した。
- アルカディアに於ける幹事会は11月開催から復活させた。3年ぶりに開催された獨協祭には「日独交流160周年」をテーマに展示参加した。
- 第9回OB講演会を令和5年2月18日(土)に開催した。
- 例年同様卒業生に記念品を贈呈し、図書館に図書費20万円を寄附した。
- 財務拡充のための寄附金募集に賛同頂き、200万円を上回る寄附金が計上された。また、卒業時に納付をお願いしている新卒同窓会費(1万円/4年間)は、52%から賛同が得られた。
- 一般会費の自動引落による納付案内を継続した。

＜開催した活動＞

- 4月2日 総務委員会(母校開催)
- 4月15日 常任幹事会(母校開催)
- 5月14日 幹事会(母校開催)
- 6月18日 総会(母校開催)
- 9月10日 総務委員会(母校開催)
- 10月15日 常任幹事会(母校開催)
- 11月12日 幹事会(アルカディア市ヶ谷開催)

第2号議案：令和4年度収支決算の件

【収入】(¥15,065,229)

- ① 一般会費 ¥5,285,000
- ② 入会金 ¥6,300,000
- ③ 新卒会費 ¥1,040,000
- ④ 寄附金 ¥2,064,000
- ⑤ 広告掲載 ¥360,000

【支出】(¥10,862,166)

- ① 事業費 ¥7,750,222 (内 会報費 ¥2,412,300)
- ② 事務費 ¥3,111,944

【収支差額】(¥4,203,063)

第3号議案：令和5年度事業計画案の件

【概況】

前年に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止策を学校と協調して講じる。低迷している会費納入率を引き上げるため、電子媒体による情報発信及び独協通信に自動引落による納付案内を継続する。

【獨協祭への参加】

9月開催予定の獨協祭に展示参加する。

【クラス会等への支援】

従来、1開催あたり1万円の補助を行ってきましたが、参加者数に応じた金額設定を新たに設ける。

5～10名 : 1万円

11～20名 : 2万円

21名以上 : 3万円

【寄附金】

寄附金を納入頂いた際、速やかに感謝状を発行し、御礼品の贈呈(金額によって)を検討する。

【支部会(仮称)】

首都圏以外に在住する同窓生について、その地域に於ける親睦会開催を応援する。

【講演会の開催】

第10回OB講演会(中3・高1～2を対象としたOBによる講演会)を実施する。(令和6年2月17日)

【OB会活動の広報支援】

獨協祭にて、OB会の活動を紹介する。独協通信にてOB会を紹介するページを継続する。

【コスト削減】

更なる財務健全化のため、支出金額の見直しを継続する。

第4号議案：令和5年度収支予算案の件

【概況】

新型コロナウイルス感染症が終息する傾向を迎え、総会後の親睦会を再開するなどリモートでの開催を余儀なくされた各種委員会、幹事会の会合を復活させる。本年度の収支差額金は160万円を目標とする。

- ① 更なるコスト削減
- ② 独協通信有料ページのPR
- ③ 会費自動引き落とし手続きの利用促進
- ④ 財務拡充寄附金の継続

第5号議案：監事補充選任の件

監事の選出、その他。

2022年度収支決算書 及び 2023年度予算案

(2022年4月1日～2023年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	2022 年度予算額	2022 年度決算額	予算進捗率	2023 年度予算額	摘 要
入 会 金	6,300,000	6,300,000	100.0%	6,300,000	3万円×210名(新入生)
一 般 会 費	5,500,000	5,285,000	96.1%	5,500,000	
新 卒 会 費	1,000,000	1,040,000	104.0%	1,100,000	1万円×賛同頂けた卒業生
寄 付 金	1,800,000	2,064,000	114.7%	2,500,000	
(内訳) 財務拡充寄付	(1,520,000)	(2,050,000)	134.9%	(2,500,000)	
スマイルボックス	(30,000)	(1,000)	3.3%		
グッズ協賛寄附	(250,000)	(13,000)	5.2%		タイピン、カフス、ポロシャツ等
事 業 収 入	0	0		0	
(内訳) 懇親会会費	0	0		0	
協 賛 金	0	0		0	
広告掲載費(独協通信)	300,000	360,000	120.0%	380,000	
資 産 運 用 収 入	0	219		0	利息等
雑 収 入	0	16,010			
合 計	14,900,000	15,065,229	101.1%	15,780,000	

支出の部

科 目	2022 年度予算額	2022 年度決算額	予算進捗率	2023 年度予算額	摘 要
事 業 費 合 計 (A)	8,150,000	7,750,222	95.1%	10,625,000	
(1) 総 会 費	100,000	84,415	84.4%	2,500,000	総会、懇親会費
(2) 会 報 費	2,550,000	2,412,300	94.6%	3,300,000	合本作成費用70万円を含む 会報発送費等
(3) 事業通信費	3,100,000	3,093,320	99.8%	3,100,000	
(4) O B 会補助費	250,000	100,000	40.0%	250,000	
(5) 学校補助費	800,000	841,934	105.2%	865,000	
(内訳) 懇親会会費	(400,000)	(326,934)	81.7%	(350,000)	
函 書 費	(200,000)	(200,000)	100.0%	(200,000)	
学友会補助	(200,000)	(315,000)	157.5%	(315,000)	
(6) ホームページ費	200,000	50,160	25.1%	60,000	
(7) 獨協祭参加費	100,000	204,930	204.9%	150,000	
(8) その他事業費	800,000	774,047	96.8%	200,000	
(9) 慶 弔 費	100,000	80,000	80.0%	100,000	
(10) 渉 外 費	150,000	109,116	72.7%	100,000	
事 務 費 合 計 (B)	3,554,000	3,111,944	87.6%	3,404,000	
(1) 事務運営費	1,350,000	1,001,487	74.2%	1,100,000	
(2) 管 理 費	1,000,000	1,156,250	115.6%	1,100,000	人件費、家賃
(3) 会 議 費	300,000	160,760	53.6%	400,000	アルカディアでの幹事会2回開催分
(4) 旅費交通費	500,000	391,126	78.2%	400,000	
(5) 名簿管理費	374,000	374,000	100.0%	374,000	
(6) 雑 費	30,000	28,321	94.4%	30,000	
予 備 費 (C)	350,000	0	0.0%	100,000	
小 計 (A+B+C)	12,054,000	10,862,166	90.1%	14,129,000	
収 支 差 額 金	2,846,000	4,203,063	147.7%	1,651,000	
合 計	14,900,000	15,065,229	101.1%	15,780,000	

積立金の部

期 首 積 立 額	80,778,287	80,778,287	100.0%	84,981,350
当 期 収 支 差 額	2,846,000	4,203,063	147.7%	1,651,000
期 末 積 立 額	83,624,287	84,981,350	101.6%	86,632,350

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

【資産の部】	【負債の部】	
	前受金	50,000
		(会費前払い10年分)
	【積立金の部】	
	(基本財産)	
	基本金	24,000,000
	(運用財産)	
	事業積立金	
	一般事業積立金	56,778,287
現預金	収支差額金	4,203,063
85,031,350		85,031,350

収支差額金処分案

次のとおり、全額一般事業積立金に繰入のこことしたい。

基 本 金	24,000,000
一般事業積立金	56,778,287
(当期収支差額金)	4,203,063
合 計	84,981,350

目 白 だ よ り

2023 年度入試を振り返って

進路指導部長 齋 藤 有 子

3月に入り、一気に春がやってきたかのような暖かな日が続いています。2022年度の高校3生191名が卒業した3月10日も、彼らの未来のように明るい陽射しが降り注ぐ佳き日でした。本学理事長はじめ、ドイツ大使館やPTA、町内会等々から来賓をお招きして卒業式が行われたのは実に3年ぶりのことです。新型コロナウイルスの影響で生活様式が大きく変わり、学校生活も活動を制限されることが多かった学年ではありましたが、式に臨みマスクを外した卒業生の顔は、様々な困難を乗り越えた青年のものでした。今後は社会の優等生になるべく、それぞれ

の場で挑戦を続けてほしいと心から願っております。

さて、今年度の全国的な入試概況ですが、総合型・学校推薦型選抜の増加、共通テスト難化による私大受験者の敬遠傾向が見られ、一般選抜受験指数の減少につながりました。出願動向としては、経済状況の好転に伴い、いわゆる「理高文低」が緩やかに崩れつつあります。文系学部では、経営・経済・商学系が増加、理系では医学・歯学・薬学の6年制の学部志願者が揃って増加したことが大きなトピックとして挙げられます。それでは、本校の卒業生の結果をご覧ください。

2023 年度大学別合格者数 (2023 年 4 月 17 日現在)

進路指導部

国公立大学	2023			2022			2021		
	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
北海道							1	1	
信州	1		1				1	1	
新潟	2		2						
山形	1		1						
福井							1		1
筑波				1	1				
群馬				1		1			
茨城							1	1	
埼玉				1	1				
東京医科歯科									
東京工業							1		1
一橋									
東京学芸				1	1				
東京芸術									
東京海洋				1	1				
東京農工	1	1		2	1	1	1	1	
電気通							1	1	
千葉				1	1		3	3	
静岡							1		1
富山	1		1	1	1				
愛媛							1	1	
京都	1	1					1		1
大阪	1		1						
鹿児島				1	1				
福岡教育							1	1	
会津							1		1
東京都立	1	1							
北九州市立	1	1							
浜松医科				1	1				
水産大学校	1	1							
合計	11	5	6	11	9	2	15	10	5

難関私大	2023			2022			2021		
	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
早稲田	15	15		7	6	1	6	3	3
慶応義塾	1	1		7	4	3	5	3	2
上智	7	6	1	7	4	3	7	6	1
東京理科	13	8	5	7	7		21	14	7
I C U				1	1		0	0	0
合計	36	30	6	29	22	7	39	26	13

GMARCH	2023			2022			2021		
	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
学習院	15	11	4	12	6	6	5	5	0
明治	24	16	8	26	18	8	24	16	8
青山学院	3	3		7	4	3	8	7	1
立教	11	8	3	4	2	2	18	6	12
中央	19	14	5	24	16	8	21	16	5
法政	26	20	6	18	6	12	21	13	8
合計	98	72	26	91	52	39	97	63	34

私立大学	2023			2022			2021		
	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
日本	52	34	18	62	37	25	55	26	29
東洋	21	18	3	22	18	4	15	6	9
駒澤	12	11	1	10	6	4	10	7	3
専修	14	13	1	6	6		14	4	10
成蹊	17	13	4	9	9		6	5	1
成城	10	7	3	8	4	4	9	8	1
武蔵	12	10	2	2	1	1	3	3	
明治学院	11	11		5	3	2	13	6	7
獨協	20	20		27	23	4	20	20	
芝浦工業	5	3	2	12	9	3	15	10	5
東京農業	9	6	3	5	4	1	23	11	12
東京電機	12	11	1	12	8	4	13	8	5
東京都市	7	7		6	2	4	8	1	7
合計	202	164	38	186	130	56	204	115	89



医 学 部	2023			2022			2021		
	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
獨協医科	11	11		7	6	1	6	5	1
愛知医科							2		2
岩手医科	1		1	2		2			
福井							1		1
金沢医科							1		1
東北医科薬科	1		1				1		1
北里	2	1	1	2	1	1	4	1	3
杏林				1		1	3	1	2
埼玉医科				1		1			
昭和	2	1	1	1		1	2	1	1
聖マリアンナ医科	1	1		1		1	4	1	3
東京慈恵会							1		1
慶応義塾									
帝京	1		1	2	1	1	3	1	2
東京医科歯科									
千葉									
防衛医科									
東海									
東京医科	1	1		1		1			
東邦	1	1					3	1	2
日本	4	1	3	1		1	2		2
日本医科	1		1						
浜松医科				1	1				
関西医科							1		1
近畿									
兵庫医科	1		1						
国際医療福祉	1	1		1	1		2		2
新潟	1		1						
久留米	1		1						
福岡	1		1						
合計	31	18	13	21	10	11	36	11	25

歯 学 部	2023			2022			2021		
	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
北海道医療大							1		1
奥羽	1		1				1	1	
神奈川歯科				1	1		3	1	2
岩手医科									
鶴見	1	1		1	1	1	2	1	1
昭和				1		1			
東京歯科				1		2			
日本	2	1	1	2		2	5	3	2
日本大学松戸	3	2	1	2	2		5	1	4
日本歯科	3	2	1			2			
松本歯科							1		1
明海	1		1			1	4	3	1
合計	11	6	5	13	4	9	22	10	12

薬 学 部	2023			2022			2021		
	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
東京理科	2	2					1	1	
東邦							1	1	
東京薬科	2	2		2	2		1	1	
帝京	5	5		4	3	1	2	2	
帝京平成				1		1	1	1	
城西	1	1					1	1	
城西国際									
昭和薬科				1		1			
日本	1	1					1	1	
日本薬科				1	1		1	1	
星薬科	2	1	1						
武蔵野				3	2	1			
明治薬科				1	1				
横浜薬科	2	2		1	1		2	2	
昭和				1		1			
北里	1	1							
慶応義塾				1	1		1	1	
合計	16	15	1	16	11	5	12	12	0

推薦入試等	2023			2022			2021		
	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
獨協医科推薦	11	11		6	6		4	4	
獨協推薦	12	12		14	14		14	14	
指定校推薦	16	16		21	21		22	22	
公募推薦	10	10		7	6	1	5	5	
総合型選抜	4	4		6	5	1	9	9	
合計	53	53		54	52	2	54	54	

<指定校推薦大学進学先一覧（獨大・獨医除く）>

● 理系

NO	大 学	学 部	学 科
1	早稲田大学	基幹理工学部	学系Ⅱ
2		創造理工学部	総合機械工学科
3	上智大学	理工学部	情報理工学科
4			物理生命理工学科
5	東京理科大学	A類創域理工学	経営システム工学科
6		A類薬学部	生命創薬科学科
7		B類理学部第一	数学科
8	明治大学	理工学部	応用化学科
9	学習院大学	理学部	物理学科
10	日本歯科大学	生命歯学部	生命歯学科

● 文系

NO	大 学	学 部	学 科
1	青山学院大学	法学部	法学科
2	学習院大学	法学部	法学科
3		文学部	英語英米文化学科
4	法政大学	法学部	政治学科
5	中央大学	総合政策学部	国際政策文化学科
6	武蔵大学	社会学部	社会学科

海外大学合格	
ハワイ大学	1
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	1
合計	2

独協通信と獨協同窓会の歴史について

現在まで続く独協通信第1号が発行されたのは、昭和48（1973）年12月20日でした。それから50年目の今年、めでたく100号記念号を、皆さまにお届けすることが出来ました。この機会に独協通信だけでなく、獨協同窓会の歴史も振り返ってご紹介します。

1. 独協通信

同窓会会報誌「独協通信」の発行に関し資料を調べると、中断と発行が繰り返されていたことが分かりました。興味深い事です。

最初の同窓会会報は、昭和7年11月26日に発行されています。獨協学園百年史編纂委員会発行の「独協百年 第5号」P.521には次の通り目次が掲載されています。

印刷所：豊隆社 東京市神田区三崎町 3-146

目次

1. 獨協同窓会報会則、並びに倶楽部規約、庶務規定
2. 獨協同窓会会員消息、各地獨協会便り
3. 会員回顧談
4. 趣味談集
5. 会員通信（趣味と希望）
6. 会報（同窓会総会）
7. 獨協クラブ部（その日その日）の抜粋記
8. 母校の現状並びに同後援会の創立経緯乃至同窓会との連絡に関する所感
9. 同窓会会計報告（昭和6年4月～昭和7年3月）
10. 母校理事役員氏名
11. 会員名簿
12. 会員訃報

しかし、いつまで継続発行されていたのか不明で、7年後の昭和14年11月7日にも、「獨協同窓会会報第1号発行」とあります。この時も続報がいつまで発行されていたのか不明でした。20年後の昭和34年11月3日には再度、「第1号」が発行されています。昭和7年に初めて同窓会誌が発行されて以来、何度も中断と発行が繰り返されていたことが分かりました。

昭和46年5月5日にも「独協通信第1号」が発行されていました。この時は3号まで発行されましたが、資金不足でまたもや中断。しかしその後「独協通信基金募集」で、170万円の資金が集まりました。ところが募金で会報作成費を集めるのは相応しくないということで、その頃から同窓会費、入会金を徴収するようになりました。改めて第1号が昭和48年12月20日に発行されました。それ以降は年2回継続して発行し、今回2023年5月にめでたく100号記念号を発行することが出来た次第です。今年で丁度50年になります。



良き青春の友情と愛敬心、目白の同窓会誌、第1号。



高校文芸部雑誌

昭和34年11月3日発行の独協通信第1号と記されています
標題の文字は、天野貞祐先生の直筆です

学校名は「獨協」と旧漢字が使われていますが、「独協通信」は新漢字を使っています。これは「独協通信」の題字を、天野貞祐先生に書いていただいたことに因ります。以来、同窓会会報誌は「独協通信」としてしています。

今日の発行部数は11,000部で、6月と12月に発行しています。これからも会員相互の情報交換、共有の場として発展を続けたいと思います。皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしています。

(1) 昭和48年12月20日 独協通信 第1号

成人の部		児童の部	
種目	金額	種目	金額
前年度繰越金	420,384	前年度繰越金	180,700
会費	1,980,000	会費	11,000
寄附金	100	寄附金	10,000
雑収入	10,000	雑収入	10,000
経費	100,000	経費	100,000
経費上代	90,000	経費上代	90,000
合計	2,500,384	合計	2,500,384

昭和48年度 独協大学入試案内

学 部	入 学 期	入 学 日	入 学 料
文 学 部	1月期	1月15日	100,000
文 学 部	4月期	4月15日	100,000
理 学 部	1月期	1月15日	100,000
理 学 部	4月期	4月15日	100,000

昭和48年12月20日に発行された第1号



獨協同窓会初代会長
第8代校長 司馬 享太郎 先生

2. 同窓会創立の経緯

同窓会の前身「獨協倶楽部」は、港区芝田村町の飛行会館内 4 階鳩ノ間に、同窓生有志が发起人になって昭和 4 (1929) 年 5 月に創立されました。

毎月 1、6、の日を選び午前 10 時～午後 10 時まで会合を持ち、校長、教職員も合同交歓したと記録にあります。当時の校長は司馬享太郎校長(第8代)でした。

その後昭和 5 (1930) 年 10 月 22 日に、獨協同窓会が創立されました。2030 年 10 月に創立 100 周年を迎えることとなります。

昭和 6 年 11 月 21 日に獨協同窓会第 1 回総会が開催され、84 名が出席しています。ドイツ語講義や銘々の専門に関する所感や、獨協時代の懐旧談を語り合ったと記録にあります。当時の生徒数は独語科 350 名、英語科 162 名。吹き荒れる昭和恐慌は、特に中産階級に打撃を与え、中途退学者は昭和 3 年度 102 名、昭和 4 年度 78 名、昭和 5 年度 98 名、昭和 6 年度 89 名に達しました。昭和 17 年～20 年は戦時下のため同窓会活動が出来ず、飛行会館内の獨協クラブは中絶しました(獨協 50 年、70 年誌より)。

獨協大学が開校した昭和 39 年辺りから、同窓会のでこ入れ機運が出て来たようです。会則が出来たのは、昭和 41 年 4 月 1 日。平成 5 (1993) 年には、それまで長い間親しんできた「獨協学園同窓会」の名称が「獨協同窓会」に改名されました。

大学や埼玉高校などを含めた学園全体の同窓会組織との区別が必要になり、変更されました。

現在の会員数は約 2 万人(住所不明も含む名簿登録者数)。大学と比べると少ないものの、戦前の獨逸学協会中学校を卒業された先輩も含め、幅広い年齢層から構成されています。

卒業生の数は時代とともに変化し、昭和 40 年代頃が最も多く毎年 350 人ほどでしたが、近年は毎年 200 人になっています。

同窓会報の発行を継続させるためには安定した財力が必要です。年会費は昭和 49 年度は 2 千円でスタートし、昭和 52 年度には 4 千円に改定。昭和 55 年度以降は現在の 5 千円になりました。

獨協通信は、会費未納会員にも送付しています。会費納入者数は、全会員の 13% にすぎません！ これからは、ホームページ上に公開すればよいのでは、との意見も増えてくるかもしれませんが、現状の発行体制を維持したいと考えます。

会費納入について、一人でも多くの皆さまにご理解ご協力を頂ければ幸いです。

尚、ホームページはスマートフォンからもご覧頂けるよう、改修いたしました。「会報」をクリック頂きますと発行された獨協通信が PDF で掲載されます。



<https://www.dokkyo-mejiro.com>



令和5年2月18日(土)、OB講演会が開催されました

今回は、三菱重工/JAXAでロケット開発に携わった高野宗之さんにご講演頂きました

この度、獨協中学Ⅲ年～高校2年生を対象としたOB講演会が本校体育館で開催され、三菱重工にて「H-IIA ロケット」、JAXAにて「こうのとり」を開発した高野宗之さん (H8 年卒) をお招きしました。

高野さんは、学内では、中学ではバスケットボール部、生徒会長、高校ではスキー部、文化祭実行委員会を経験されました。

また、学外でも、高校から推薦され「東京都洋上セミナー」に参加したり、学校の枠を超えた合同文化祭「スクエア」を主導するなど、学内外を問わず活動されていたとのこと。

この中で、「交渉、コミュニケーションの重要性に気づき、その能力が身についた。獨協時代の経験によって備わった考え方が社会に出て大変役に立った。」とお話しされておりました。

大学受験に際しては、医学部を目指しましたが失敗し、工学部へ進学。与えられた環境や周りに流されず、学業・遊び等の区別なく、何にでも興味を抱いたものに継続的に取り組んでいたところ、成績もトップクラスになっていたとのこと。

そして、大学の教授から「宇宙科学研究所で研究しなさい。」と推薦いただき、東大大学院生しかない宇宙科学研究所 (現 JAXA) にて、大学4年から大学院まで過ごし、これが就職活動やその後の人生に大きな影響を与えたと振り返ります。

<ご 略 歴>

- 1990年4月 獨協中学校入学
- 1996年3月 獨協高等学校 卒業
- 4月 日本大学生産工学部入学
- 2001年3月 日本大学生産工学部卒業
在学中に宇宙科学研究所 (現 JAXA) 特別研究員
ケンブリッジ大学夏季コースを修了
- 2003年3月 日本大学大学院を首席卒業
- 4月 三菱重工業 (株) 入社
H-IIA ロケットの設計及び打ち上げ業務に従事
その後 JAXA にて、国際宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV) の全体システム開発を行い、NASA ほか多数の賞を受賞
- 2018年 独立
宇宙に限らず不動産業、広告業、物販業などを展開すると同時に多数の会社役員を歴任
- 2021年 一般社団法人宇宙旅客輸送推進協議会 (SLA) に参画
宇宙への定期船 (スペースライナー) の実現に向けた活動に取り組む
株式会社ラグラボを設立
宇宙開発の経験を用いた経営 / 技術コンサルティングに携わる

OB講演会 報告

高野さんは明るく楽しく語ります。三菱重工やJAXAの仕事に携わり前例のない数々の仕事をこなして来ました。

H-IIA ロケット 204 型（能力向上型）の開発では、ロケットを支える装置の設計を新入社員から任されたそうです。ロケット打ち上げ前は発射棟に固定しておき、ロケット打ち上げの瞬間に結合離脱する。さらに4基の固体ロケットブースターにぶつからないように確実に退避させる非常に難しい仕事だったそうです。

無理難題と思える注文でも「これは出来ない！」とは言わないで「どうしたら出来るのか？」を常に前向きに考え、仕事に邁進してきたとのこと。

仕事を進めて行く中では、「観察」「行動」「改善」のサイクルと、「諦めないこと」が大切！このサイクルを回すことで、まず自分の専門性(得意分野)ができ、その経験が後のキャリア構築に役立つそうです。さらに、迷った時には、利己的ではなく利他的であるべきこと。「どうせ無理！」ではなく、「どうしたら出来るか？」という考え方。失敗は成功へのチャンスと捉えることなど、生徒へのメッセージを熱く語りました。

生徒からは多くの質問があり、「日常の学校での勉強が将来役にたつのでしょうか？」という質問に、高野氏は明解に答えました。「学校での勉強をしっかりやり遂げる事が大切。好きな事も好きでない事も。大切なことは、全て与えられた環境でベストを尽くせるようになること！学校の勉強はその練習であり、その経験が社会に出てから、仕事をやり遂げる時にプラスになる！」と。

講演後も生徒に囲まれるほど多くの質問が上がり、とても有意義な講演となりました。



H-IIA、H3ロケットの模型を手に熱弁を振るう高野氏



大学入学後も勉強は継続する！
英語は基本ツール！
諦めないこと！
できない、ではなくどうやるか！
人間力の形成が大切！

高野イズムが満載の講演は生徒に響いた!!



講演の後、生徒からは多くの質問が寄せられました

高野さんが代表を務める(株)ラグラポ。是非ご覧ください。



講演を終え上田校長を囲んで、ロケットを手にする高野さん

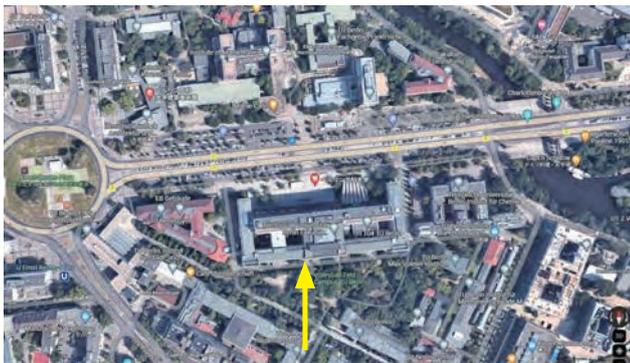


旧西ベルリンから東西統一後に開放された東ベルリンを望む。

筆者の留学当時は、右下のブランデンブルグ門を含め、東側は壁で覆われていた。中央のテレビ塔は東ドイツ時代の建築。

初めて訪れたベルリン工科大学（以降、TUB《テーウーバー》）の印象はあまり良いものではありませんでした。旧館がコの字形に囲うように新館と合体した校舎本館の奇妙な造り。古ぼけた南側の旧館から入って、北側に抜けて振り向くと、近代的な設計の新館が目に入ります。奇妙と言え、ガラス窓、ドア、壁、あらゆるところに貼り紙、それをはがした跡。旧館にそれが無いのは貼った人のせめてもの良心か。既に治まっていた学生運動の嵐の爪跡を目の当たりにしました。嵐はこの大学を中心にベルリン中に広がったとか。

本館を中心に研究所の建物が群生していて、その群体がTUBです。入構を阻止するような門や外壁などありません。いわば街の一面を成しています。それを二分するように横切るのが「6月17日通り (StraBe des 17. Juni)」です。ここは1953年(昭和28年)の東ベルリン暴動が鎮圧された6月17日を記念して旧道からそう改名されました。



新旧建築が混在するユニークなTUB Google mapより

旧道とは東西に走る二つの公道でした。西はシャルロテンブルガー大通り (Charlottenburger Chaussee) で、王妃シャルロッテの名を冠した宮殿から始まり、東はウンターデンリンデン (Unter den Linden)、ブランデンブルグ門から先は東独で、その夫の初代プロイセン王の王宮まで続きます。両宮殿とそれを結ぶこの大通りは遺産的価値があると言っても過言ではありません。世界で最も美しい通りとしてシャンゼリゼ通りが有名ですが、ここもそれに劣らず

美しい通りのはずでした、東独に分断されさえしなければ。

この6月17日はドイツ統一の日 (Tag der deutschen Einheit) と称し休日でした。東西のドイツが統一されるまで、という思いを込めて名付けられた (はずの) 仮の名でしたが、実際に統一されてもそれぞれの旧名称に戻ることはありませんでした。西端は良いとしても、残りの東側のブランデンブルグ門までは由緒あるウンターデンリンデンに戻して欲しかった。東西ベルリンの架け橋のような存在だったからです。恐らく「6月17日通り」が有名になり過ぎたのでしょうか。休日だけは、実際に統一された10月3日に移されたとは聞いています。

オリンピック金メダリストの高橋尚子さんも、この「6月17日通り」を走って女子マラソンの世界記録をつくりました。何とTUBを巡るように折り返していきました。もちろんずっと後の2001年の話です、当時なら「走る」どころか「たっち」もおぼつかない生まれたての0歳児ですから。



ベルリンの旗とエンブレム

さて肝心の大学での勉強 (Studium) です。あまり迷いもなく聴講生として登録しました。特定の学歴証明があれば聴講生になれます、学費は一切かからない上に、実験演習やセミナーにも参加できます (実際に参加しました)、試験すら受けられます (実際に受けました)。ただ学位は取得できません。正規の大学生との違いはそれだけ、短期ならばそれで良いと考えていました。

ところが、いよいよ大学の講義を受けに行き、聴講生という人種が少ないことに気が付きました。聴講生は講義が終わると受講証明のため教授にサインを

してもらいます。そのために教壇に登って教授を引き留めるのですが、そんな学生は少数でした。時には恥ずかしいことに筆者ひとりのことすらありました。講義を受けている学生のほぼ全員が学籍を持つ大学生だったのです。

当時は大学生になることを難しく考えすぎていました。日本の四年制の大学を卒業していれば、語学試験を受けるだけで学生になれたのです。先に書くべきでしたが、ドイツの公立の大学は学費をとりません（天野貞祐先生が朝礼で語っておられたので当時の獨協生には承知のこと）。大学生は学割がききます、家賃の安い学生寮にも入れます、特に外国人学生は滞在延長が楽になる他に労働許可証がなくともアルバイト（ArbeitではなくJobと言います）ができます、学生ですから試験を受けて学位も取得できます。何より自分にとって大事だったのはコンピューターが自由に使えたことです。良いことばかりです、逆に聴講生でいる理由などありません。

そう気が付いて早速、学生になる手続きを始めますが、大学が始まってはもう間に合いません。ドイツの大学は冬と夏の二学期制で冬が年始めです、冬学期初頭の語学試験を逃した筆者は次の年の冬学期を待つしかありません。何とも計画性のない話です。そして極寒のベルリンを「越冬」して「名前だけの夏」が終わり、次の冬学期がきました。ベルリンに来て丁度一年が過ぎてしまいました。語学試験を受けるには500時間のドイツ語の授業時間（Unterrichtsstunden）の証明が必要でした。一般の外国人は例え流暢に会話ができてもこれで苦勞するのです。彼らは有料の語学学校で少なくとも1年間学んでこの時間を稼ぎます。ゲーテ・インスティトゥートの授業時間も含まれます。筆者の場合は楽々クリアです。獨協のドイツ語クラスの授業時間はこの時間をはるかに超えていたからです。ただ、そんな（大学を含めて8年間もドイツ語を学んだ）者がこの国の8歳の小児に語学力で劣ってしまうとは。



新旧の建物が混在するベルリン工科大学

語学試験は文法と作文の筆記試験でした。何とか合格して晴れて大学生になれました。落ちれば追試はなくまた一年棒に振るので緊張はしました。「こんな試験に一発合格できないでドイツの大学生になるな！」ということです。筆者の場合はフォアディプロム／Vordiplom（訳語なし）まで認められました。日本



筆者が留学したベルリンの壁が存在していた時代、ブランデンブルグ門の西側はレンガの壁で包まれ、写真のような光景は見る事が出来なかった。 Google mapより

流に言えば大学2年位までの一般教養課程が修了したと同等です。

大学生の義務がひとつあります。毎年、学生保険に入ることです。年間数千円（マルクから換算して）だけ支払います。補償内容は良く読んでいませんが、総合保険ですから実質的に健康保険と損害保険を併せ持っています。教材を除いて大学にかかる出費はこれだけです。

日本では大学生になるには、特定の大学と特定の学科を選び願書を提出し、試験を受けますが、ドイツではいわゆる大学入試はなくアビトゥーア／Abitur（訳語なし）という高校の卒業時に受ける試験が大学入学の検定試験です。信じられないと言うか、うらやましいと言うか、それに合格するとドイツのどの大学、どの学科にも入学できます。筆者は機械工学科を専攻しましたが、例えば電気工学科、物理科などに進むこともできました。天野先生によればこういった制度全体を「大学の自由（Akademische Freiheit）」と呼ぶそうです。

もちろん制度はそうであっても誰もが望む学科に入学できる訳ではありません。それぞれの学科には定員があって入学許可（Zulassung zum Studium）が下りないことがあるからです。当時、TUBでは建築科に人気が集中していました。とりあえず別の学科に籍を置いておいて建築科の入学許可を待っている学生もいたようです。

ただ自由は責任を伴うものです、最初に苦勞したのはカリキュラム（Studienplan）です。テンプレートはなくすべて自分で組まなければなりません。履修要項（Vorlesungsverzeichnis）という分厚い案内書を書店で買って計画します。卒業してどんな職業に就くか、何になりたいか決めておかないとその計画自体が組めません。

学科の必須科目すら目録を読まなければ分かりません。もし計画に行き詰ったときには相談員（Prüfungsobmann）がいてアドバイスがもらえます。専門職ではなくTUBの教授が年毎に持ち回りで担当しています。

いつの間にか卒業を前提としている自分がいました。聴講生で二年間という予定でしたが、履修要項を読んでいる内に少し滞在期間を延長すれば卒業できると考えてしまいました。両親に卒業の意志を手紙に書いて伝えたのはこの頃でした。

獨協という絆 ①

瀬 畠 克 之 さん (昭和 54 年 卒)

いつも同窓会誌を送付いただきありがとうございます。会誌を読みながら、遠い昔に思いをはせています。とくに今回はドイツ語クラスで一緒だった同級生が今年の7月に亡くなったことをこの同窓会誌で知りました。北大時代、小樽商科大学に赴任して来た彼とよく一緒に食事をしたことを思い出します。私は獨協高校を卒業したあと、電気通信大学を経て北海道大学医学部に進みました。北大では3年遅れてひとりの獨協生（彼も学卒者でした）が医学部に入ってきましたが、その後、我々のあとに続く後輩がしばらくありませんでした。



さっそく「獨協高校出身」と記載されている川村拓斗君に「獨協高校と北大医学部の卒業生です」とメールをしてみました。すると、すぐに丁寧な返事が返ってきました。その文面は彼の人柄の良さと聡明さが伝わってくるようなものでした。

そのときはそうしたやりとりだけで終わったのですが、昨年（2022年）の春、川村君から突然「医師国家試験に無事合格しました」とメールが届きました。親子ほど歳が離れた私のようないち先輩にも律儀にメールをくれた川村君の気持ちがとてもうれしかったです。

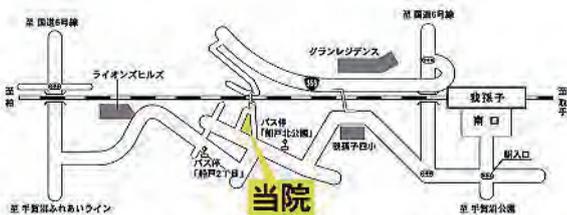
千葉県で研修することが決まっていた彼は、研修が開始される直前に我孫子にある私のクリニックに来てくれました。そして、獨協時代のこと、北海道や北大での思い出などを懐かしくも楽しく語り合い、つい時間が経つのも忘れるほどでした。



ところが、以前、この「獨協通信」で久しぶりに北大医学部に合格した獨協生がいることを知りました。うれしくなってひと言だけでもお祝いの気持ちを伝えたくなり、同窓会に連絡先を教えてもらおうと唐突に電話をしてしまいました。しかし、今思えばあたりまえのことですが、「個人情報だから」という理由で連絡先を教えてもらえませんでした。すっかり諦めていたところ、北大医学部の卒業生名簿に在学中の学生の出身校と連絡先が記載されていることを偶然見つけたのでした。



船戸内科医院



私が一方的に話しをしてしまったようでしたが、夜になるまで彼と話しをしながら、あらためて「獨協高校」で二人がつながっていることを実感できました。そして、そのつながりは、北海道という遠い場所と四十五年という時を経てさらに強い絆になっているように感じた次第です。

獨協という絆 ①

川村拓斗さん (平成 27 年卒)

国保旭中央病院という、千葉県の田園地帯にある病院にて初期研修医として勤務しております、川村拓斗と申します。この度は獨協通信に寄稿させていただく機会を頂戴し、さらには大学の先輩でもある瀬島先生よりご推薦いただき、非常に光栄に存じております。私は獨協高校を 2015 年に、北海道大学医学部医学科を 2022 年に卒業いたしました。獨協の自由な校風の中、伸び伸びと気ままに自分の興味を追求していった 6 年間は充実した毎日であり、成長の糧となる教訓も多く得ることができました。卒後も在校生へ大学受験に関するアドバイスをさせていただき、真面目で柔軟な思考力を持った獨協生の底力に感嘆しております。

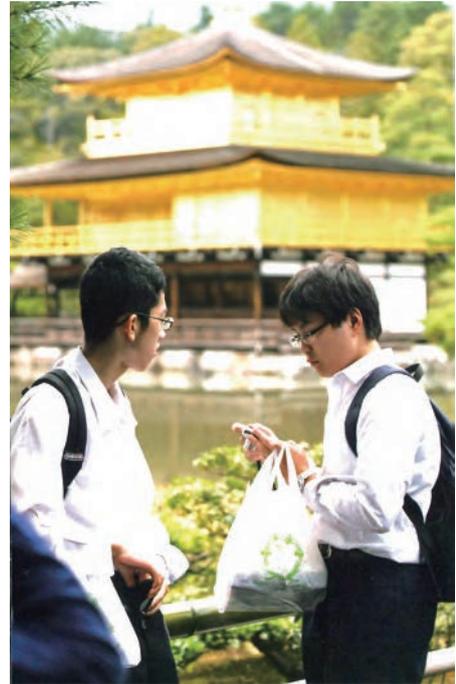


高校 3 年生時代

満ち足りた獨協での学生生活ではありましたが、より多くの人々と交流して人脈を広げれば良かったと後悔することがあります。特に OB と関わる機会はあまりなく、獨協生の繋がりを在学中に意識することはありませんでした。札幌で大学生活を始めた際も、遠い北海道で獨協の縁はあまりないであろうと思込んでいました。



中学 3 年生時代



修学旅行にて

そのような中で偶然が重なり、瀬島先生よりご連絡をいただきました。さらには奇遇にも先生が診療なさっている千葉で勤務することになり、これは並大抵ではないご縁だと思い、先生と直接お会いする機会を頂戴しました。

当日は初対面にも関わらず暖かくお迎えいただき、学生時代のお話、大学病院でのお話、診療所のお話などを余すところなく語っていただきました。一つ一つのエピソードに興味をそそられると共に、『白い巨塔』の里見先生を彷彿とさせるような、嘘偽りのない誠意と熱意をもって医療に取り組むお姿に強く感銘を受けました。そのお姿はまさに獨協生時代から自分が思い描いていた理想の医師像であり、今後の努力次第でその医師像を体現できると希望を抱くようになりました。私自身はプロとして経験が非常に浅く、慣れないことが多いため心理的に追い込まれることも少なからずあり、忙しさに忙殺される時にはつい患者さんに心を配れなくなってしまうのですが、瀬島先生とのひとときを思い出して、少しでも理想に近づこうと努めております。

今後、医療者・非医療者を問わず、獨協生の繋がりが思いもよらないところであると思います。ご縁があった際は何卒よろしく願いいたします。

今回はドイツ語に情熱を注ぎ、元祖獨協精神を現代で具現化している、同級生の小池駿君にバトンを渡したいと思います。

takuto.007.20@gmail.com

蛇の目鮓

乙坂 浩樹 さん 平成 14 年卒業

狛江市は東京都の多摩地域東部にあります。

そこで昭和 54 年から店を構え、ネタの良さを引き出す技が光る「すし」と「うなぎ」が特徴のお店があります。小田急線狛江駅から、わずか徒歩 3 分。世田谷通り沿いです。お店の裏に駐車場があります。

開店以来、地元で親しまれ銀座の名店で修行した 2 代目店主が乙坂浩樹さんです。両親の勧めで獨協中学へ入学。鮓屋を継ぐことは決まっていたのですが、お医者さんが多い獨協で人脈が出来たら、という思いがご両親にはあったそうです。6 年間過ごした獨協中高は、全員が学ラン男子で、それが新鮮だったそうです。高校ではテニス部に所属しました。主管は柳本先生、志村先生、新井先生でした。皆で仲良く遊んだり、食事に出かけたりした記憶も懐かしいとの事でした。



鰻重 Google map より

卒業後、武蔵大学経済学部に進学しました。大学 4 年から他の鮓屋でアルバイトを重ねました。そして、服部栄養専門学校で 1 年半学び、2011 年からお父様の跡を継ぎました。川崎市宮前区の卸売市場に毎日出向き、仕入れた旬の魚介類を丁寧に下ごしらえして素材のうまさを引き出しています。創業から 40 年以上使い続けているタレで焼いた鰻重のファンも多いとのこと。土用の丑の日、日テレが過去 2 回取材に来たそうです。



カウンターとテーブル 4 卓の店内は明るい雰囲気です。近所に出前 (2 人前以上) もしており、地元のお客様が多いのが特徴です。新型コロナ流行当初、出前の注文が倍増し、奥様はとっても忙しかったそうです。同級生が、先輩や後輩のお医者さんと一緒に来店する事も多いそうです。

「獨協の卒業生です！」と声をかけて頂けるとウェルカムドリンクをサービスして頂けます！



Google map より

実は私も狛江に住んでいます。2018 年春、11 年余りのドイツ勤務を終え、成田空港から帰国した日に、娘夫婦が案内してくれたのが蛇の目鮓でした。その後も通わせて頂いていますが、今回の取材で初めて同窓生のお店であることを知りました。大きな喜びです！

〒 201-0014 東京都狛江市東和泉 1-33-10
電話 03-3488-7146
営業時間 11:30 ~ 14:00 16:00 ~ 22:00
定休日 水曜日 (祝日は営業)



ホームページ



Google map

傘寿を迎えた同期会 絆の会 食事会

有我 昭 藏 (昭和 34 年卒業)

2年前開催する計画でしたが、コロナ禍のため延期をしてようやく開催いたしました。

久しぶりの銀座は、風は清々しく何となく春めいて心がはずむ気がいたしました。会は、沖山幹事長を含め 26 名の方がご出席され、わいわいガヤガヤ懐かしく楽しく、沖山幹事長の写真の説明とご挨拶の後 矢沢君の乾杯により賑やかに始まりました。

食事の間に皆さんそれぞれお洒落をして 82 歳の記念にカメラに収まりました。かけがえのない時間はあっという間に過ぎ最後に全員で記念写真を撮り、高橋 龍二君の手締めをしたのが予定を 1 時間も過ぎた後でした。

皆さん大変満足をして笑顔のうちに“また会おう”言うことで散会しました。これからもこのような食事を開いてもらいたいとのご要望も沢山いただきました。友達との話や少しの飲み会がこれからの楽しみとの事だそうで、出来るだけ多く皆さんと会うと云う機会を作らせて頂きます。それまで皆さん少しでも元気でいられますように出来るだけ運動をし

て太り過ぎないように心掛け、気軽に友達と会えるよう身体も若く、心も若く保つように頑張りましょう。

これからも健康で明るくゆっくり人生を楽しみましょう。それまで友よ元気で!!!



令和 5 年 3 月 12 日 銀座 天厨菜館

傘寿を祝うクラス会

佐藤 隆 一 (昭和 36 年卒業)

黒川 (ハワイ在住) の帰朝に合わせて決めた開催日であったが欠席となり、残念であった。出席者 12 名の内、医師 4 名、介護福祉士 1 名で、この高齢者の集いで不慮の事態が出来たとしても安心な陣容となっている。物故者に献杯後、乾杯。3 年半ぶりの開催であった。傘寿を迎えたことを以て新たなスタートを祝い、全員で「ハッピーバースデー」を唱和して開宴した。それぞれの近況報告は、持病や免許証返納など高齢者によくある悩み事 (徘徊はなかった) に共感したり、乗馬クラブ、水彩画、マラソン、書道、ウクレレなど現役引退後の個々のリフレッシュ健康法に心を動かされた。中でも木内は、引退後も元気な高齢者が家庭で燻り、家人に疎まれている現状に人材の才能を生かす居場所づくりのために一般社団法人を立ち上げた。培った人脈、経営アイデア、ノウハウを活かして地域興しや企業経営コンサルなど仕事で再活躍できる一方、家人はコロナ禍で更に籠り人となった亭主から解放される。両者ウインウインの関係で会社も順調だという。天野貞祐先生が「母校の状況を見るに忍びず校長に」なられたのが昭和 28 年。その 5 年後、昭和 33 年 4 月に我々は入学した。

全校生徒を前にして校庭での訓話、また校長室での個人面談などで「諸君は可能性そのものである。」と常に語られ、大いに励まされた。世は聖徳太子の一万円札が発行され、美智子様のご婚約、皇太子殿下妃殿下のご成婚の儀、昭和天皇皇后両陛下の展覧試合で長嶋茂雄逆転ホームラン、岸内閣安保反対デモなど、戦後の経済及び政治が大きく浮揚、進展し始める刻であった。



令和 4 年 11 月 25 日 アルカディア市ヶ谷

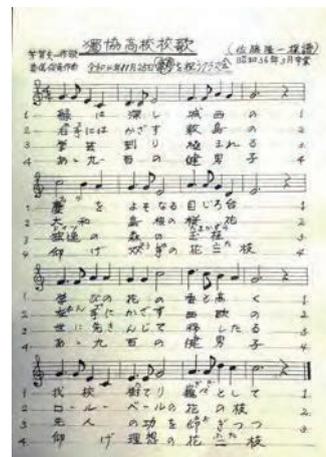
昭和 36 年 3 月卒業。天野校長の薫陶を受けた紅顔の美少年達は将来に向けて飛び立った。4 年後、天野先生念願の獨協大学創立。初代学長、傘寿の時であった。今一度刮目して獨協学園の隆盛を見よ。困難な環境にあっても生徒たちに対するだけでなく天野先生は、「その言葉」をご自身に言い聞かせ、反芻し、実践した結果を示してくれている。

Bravo 獨協!

幹事はウクレレを独習して 2 年半。ディサービス行事のイベントで演奏して高齢者の認知症予防に活用している。この宴でも同様に「お座敷小唄」の替え歌、「ボケます小唄・ボケない小唄」の歌詞を読み笑いながら全員で歌った。我々も気は若いが高齢者である。身体を動かすこと、歌うこと、笑うことは脳の活性化や免疫力アップに役立つのである。

幹事の音頭で老眼の美少年たちは校歌を高らかに歌ってお開きとした。出席者の記念撮影には天野貞祐先生にも加わって頂きました。

今回の幹事は、100歳までこのクラス会を俺がやる！と標榜する木内に決定し、力強く再会を約した。



獨協1月会

中村昭美 (昭和41年卒業)

今回の場所は、森田君と小杉君が推薦されたお店で設定しました。出席者は、小杉喬志君、堀江重之君、森田芳和君、江藤雄一君、斎藤幸一君、島田博君、下山潔君、北岡高明君、平岡徳朗君、中村昭美の10名です。

コロナ渦の中で下村博一君、長村洋君が残念ながら欠席になりました。令和に入って初めての開催で、43年卒業の姚君のお店をお借りしました。

今回は土曜日ではなく金曜日の夜に初めてやりましたが、今まで参加できなかった江藤君と島田君が参加でき、久々の再会に話が弾み、卒業してから57年後期高齢者になりましたが、まだまだ元気に会えることを喜んでいました。

最近では病気の話と孫などの話で盛り上がりますが、最後は各自の近況でめで、3時間あっという間に過ぎ、次回の再会を決め、7月7日(金)七夕の日に2組のミニクラス会と合同で「昭和35年1組2組会」

と称し予定します。1月は寒いので春の昼間との意見もありましたが、7月の夜になりました。奮って参加をお願いいたします。場所は追って連絡します。



令和5年1月26日 水道橋 太湖飯店

令和5年ミニクラス会

中村昭美 (昭和41年卒業)

毎回幹事は平岡君が昭和35年中学入学時2組を中心に連絡していましたが、今回は喜多君がお薦めの店を決めて、インターネットで連絡しました。

今回出席者は石田君、上原君、島田君、白水君、巢瀬君、相馬君、山口君、横山君、平岡君、喜多君、1組から北岡君、小杉君、森田君、中村の14名です。

円卓4宅に3名、4名とまとまり、鍋を囲んでそれぞれの席に治まり、喜多君の乾杯の音頭でコロナ渦の中始まりました。

今日の料理は鴨しゃぶ鍋で後期高齢者の仲間入りした年齢になりましたので、健康に考慮した食材を選んで決められていました。

横山君の提案で、各自現況報告しながら、あっという間に時間がたち蕎麦でめで解散になりました。

次回は夏に1組との合同クラス会を水道橋で行う

予定で約束して閉会しました。



令和5年1月13日 日本橋 紅葉川

昭和 40 年中学卒業 中学 3 年 2 組 クラス会 高橋 博 (昭和 43 年卒業)

独協通信 98 号の「お世話になった先生」(吉田卓司先生寄稿)に触発されて、と言う訳でもないのですが、11月7日に20年振りとなるクラス会を開催しました。

我々のクラスは吉田先生が獨協中学高等学校に赴任されて初めてクラス担任として受け持たれたクラスで、その後高校卒業までの6年間先生も持ち上がりでクラス担任をされたので、中学時代の3年は全員が、中には高校卒業まで6年間ずっと吉田先生のクラスだったという卒業生もいます。当日は15時に校舎に集合し、上田校長先生にご挨拶をいただいたのち、板東教頭先生に我々のいたところは様変わりして立派になった校舎見学の案内をしていただき、その後椿山荘へ移動してのバンケットとなりました。

古希を過ぎた卒業生の面々ですが、在学中そして卒業時の思い出は皆鮮明に記憶に残っており、なつかしい昔話、そして老人の必須の話題である最近の健康(病気?)話などに楽しいひと時を過ごしました。

また、この日は先生の奥様にも同席いただいたので、先生が新婚当時住まわれた石神井のアパートへ生徒がかわるがわる押しかけて食事をご馳走になった話など、当時の裏話なども含め、奥様にもお話をいただきました。20年ぶりの開催と随分間が開いてしまいましたが、次回は2年後の吉田先生の米寿祝を兼ねての開催を誓いお開きとなりました。この場をお借りして、校舎見学会に多大なご協力をいただいた学校事務室の瀬戸事務長にも感謝申し上げます、クラス会開催報告とさせていただきます。



令和4年11月7日 椿山荘



お招きした吉田卓司先生ご夫妻

太田 朝博 先生 墓参追悼文 桂 公平 (昭和 46 年卒業)

令和4年1月8日に逝去された太田朝博先生のお墓参りを同期10名で同年11月13日に行っていました。遠くは青森からも駆けつけ、新型コロナのために順延に次ぐ順延でしたが、久しぶりの再会ともなり、またこの日は快晴、風もなく、初秋のわりに暖かく遠足?にもってこいの日でした。お墓参りに「遠足」とは不謹慎とお思いに感じる方もいるでしょうが、そこは太田先生の指導を受けたいたずら坊主ど

も10名。ワイワイ、ガヤガヤと楽しく、遠足気分でお墓の前へ集まりました。

太田先生は、ここ長明寺のお墓に奥様と仲良く眠っています。そんな中、悪ガキどもが先生たちをうるさく起こしたかもしれません。お墓に花を手向け、お線香は一人ずつ供え、各自手を合わせ、それぞれ思い思いのことが去来したと思います。『先生ありがとう』と手を合わせて拝んでも、先生のことだから『なんだよ、お前たち!ちゃんとまじめにやっているか?もういいから帰れよ!皆で俺を肴(さかな)に飲みに行くんだろ?……?』と、きっと



クラス会だより

そう言うでしょう。

そんな、いたずら坊主ども一人一人が感謝をしたいと数年前から始めた「太田先生を囲む会」にはもうご本人は居ませんが、先生の在りし日の写真を飾りながら、思い出話をいっぱいしました。こんなことで供養になっているのかどうかはわかりませんが、我々にとってはどちらでも良いのです。先生を忘れませんから、ずっとわれわれの主幹ですよ！(合掌)

追伸：同級生の皆さんへ

昭和46年卒業生の1年遅れ同期会(古希)は、次の通り開催いたしますので、振るってご参加ください。

場所：第一ホテル東京 ラウンジ 21

電話：03-3501-4411

日時：2023年10月22日(日) 13:00～

日蓮宗 日照山 長明寺 台東区谷中 5-10-10

日暮里駅北口改札を出て左に向かい、坂をダラダラと上り、二股の、かの有名な「夕焼けだんだん」を右手に見て「七面坂」を下り、道路に面して左手に見えるお寺です。下りきった角を左に向かうと寺の門があります。門をくぐって上がり、境内右手の寺務所で太田先生のお墓の場所を聞いてください。

*車で行く場合は、寺前の道は一方通行ですので谷中小学校方面からアクセスしてください。



日蓮宗 日照山 長明寺

Google map

中学1年5組 BBQクラス会 杉本真悟(平成30年卒業)

2023年3月某日、恩師 小林敦先生をお招きし、新木場にてBBQクラス会を開催しました。

ここ数年はコロナ禍で中止となっていましたが、やっと開催することができました。残念ながら予定の合わない友人も多くいましたが、久しぶりに再会した旧友・恩師との会話で盛り上がりました。

各々が様々な事情で忙しくなっていますが、また必ず開催したいと思っています。



クラス会・同期会開催予定のお知らせ

- 「48会」開催のお知らせ(卒業50周年)

日時：2023年10月21日(土) 17:30開場 18:00～

場所：椿山荘東京

代表幹事：金 承一 090-3315-1732

例年通り、往復はがきをお届けします。

- 「獨協同期会 昭和54年卒の会」開催のお知らせ

日時：2023年9月17日(日) 16:00～

場所：椿山荘東京

同期会幹事：杉村、柄澤 同窓会常任幹事：野村芳樹

ご連絡をお待ちしています nomura.yo@nomuramedical.com

寄付金納入者一覧 (「99号」以降)

(敬称略)

竹内 正和 (昭和18)	30,000	星野 紘 (昭和37)	10,000	(匿名) (昭和48)	10,000
石井 進 (昭和20)	20,000	伊藤 利夫 (昭和37)	10,000	木村 宗孝 (昭和50)	10,000
宮田 和夫 (昭和24)	10,000	豊田 守人 (昭和37)	10,000	池田 亮 (昭和51)	10,000
井上 猛 (昭和26)	10,000	東郷 庸史 (昭和38)	10,000	岩瀬 彰彦 (昭和52)	10,000
桑嶋 陽一 (昭和29)	10,000	辻 定利 (昭和38)	10,000	伊藤 英一 (昭和52)	10,000
小川 秀明 (昭和32)	10,000	大隅 敏彦 (昭和41)	10,000	遠山 洋一 (昭和53)	10,000
(匿名) (昭和32)	(匿額)	(匿名) (昭和41)	(匿額)	弓立 環 (昭和54)	5,000
福島 尹夫 (昭和33)	30,000	宮崎 輝雄 (昭和42)	5,000	高田 正道 (昭和55)	5,000
大野 嘉章 (昭和34)	10,000	高橋 優 (昭和43)	30,000	吉松 栄彦 (昭和59)	10,000
塩崎 晴朗 (昭和34)	10,000	村上 順 (昭和43)	10,000	矢野 剛司 (昭和62)	5,000
岩佐 峰彦 (昭和34)	20,000	竹内 一雅 (昭和43)	10,000	泉水 出 (平成3)	5,000
吉本 明康 (昭和34)	10,000	橋本 俊春 (昭和45)	10,000	玉井 道寧 (平成4)	20,000
大沢 悠里 (昭和34)	(匿額)	小川 守一 (昭和46)	10,000	(匿名) (平成7)	20,000
(匿名) (昭和34)	10,000	上田 善彦 (昭和47)	10,000	星野 剛 (平成10)	20,000
梅木 建昭 (昭和35)	(匿額)	森 一博 (昭和47)	10,000	松原 智彦 (平成19)	10,000
神保 孝雄 (昭和35)	10,000	高野 義夫 (昭和48)	10,000	丸田 蒼丞 (令和3)	10,000

ご協力ありがとうございました。今後とも会費納入および財務拡充のご寄付をよろしくお願い申し上げます。

獨協同窓会は任意団体のため、寄付金控除制度の対象になっていません。

確定申告での所得控除や税額控除は受けられませんので、予めご了承ください。

私の近況 卒業 10年

●神嶋禮次郎 <昭和 18 年卒>

いつも同窓会だより等をいただいているのに、年会費等納めておらず申し訳ありません。父は、2020 年 1 月に施設に入所し、施設内男性最高齢の 97 歳です。認知症が進み、週 1 回 10 分の面会では私のことも娘だとわかっていないときがあり会話がかみ合いませんが、よく話します。かつては、同級生と一緒に学校まで毎日走り、体力をつけていることを担任から褒められてうれしかったこと、同級生とプールに行き、高飛び込みをしたことなど、懐かしそうに話してくれました。また、貴校で学んだであろうドイツの歌 1 番は十八番で、よく歌っていました。昭和 10 年代のきな臭い時代であっても貴校でよい青春時代を過ごしたことが何え、私のものより楽しかったのだらうと思います。

●市崎 信行 <昭和 38 年卒>

ガンバレ獨協球児 野球のおかげで天野校長よりサイン入りのボールを頂きました。コロナ前は月に 1、2 度飲み会、麻雀等で同級の仲間達と集まってましたが現在は自粛中です。

●大澤 庄平 <昭和 38 年卒>

(学園での思い出)(仕事)(家族) 1959 年第 2 回校内競技大会で今先生、登坂先生の指導のもと優勝出来た事。今でも中学時代のクラス名簿を暗記してる事。獨協大学へは 1 期生で入学したが 1 浪、留年、2 年遅れの卒業でしたが思い出して良く卒業出来たと思ひ返します。商社に入社し 30 年勤務した後、現在は不動産管理業、保険代理店をしています。最近住居地域の自治会長をしています。三人の孫の一番下も今年大学を卒業し社会人になりました。

●武居 邦康 <昭和 38 年卒>

卒業して 60 年、今でも車で目白通り、関口台町バス停を通り抜ける度、懐かしい獨協学園の校舎が見えてくる。朝礼、天野貞祐校長「自由は不自由である・・・」との名言、他にも走馬灯のように思い出が去来する。

●田中 彰 <昭和 38 年卒>

私は大田区大森から文京区関口台の高校に 3 年間通い、昭和 38 年に卒業、当時の学長は天野貞祐氏でした。私の誇りは、卒業の際に学長より「3 年間無遅刻、無欠勤は立派」とのお言葉を頂いたことであり、今でもこの言葉を大切にしております。

●直江 寧之 <昭和 38 年卒>

製造メーカー勤め、留学、病氣入院そして現在会社経営 (IT、マーケ) 30 年で現役続行中、せわしい毎日です。ウォーキング 2 万歩目標で何とか健康保っている日々です。

●大塚 智博 <昭和 48 年卒>

3 年間のコロナ禍は体力、気力の低下をひきおこしました。私も例外ではありません。毎日テーマをつくって体を動かし、前向きな気持ちで過ごしています。

●小澤 尚 <昭和 48 年卒>

僕の時代の獨協は既に名門校としてのブランドは希薄になり、余り自己肯定感が低い日々だったように思います。1999 年以降、多摩地区で僕が運営する腎疾患を中心とする医療施設が 6 施設に増えました。エリートコースではない道を逞しく歩むのが新しい「獨協生」ではないでしょうか？

●角井 浩 <昭和 48 年卒>

3 年間主管だった倉地先生に秋頃電話をした時、今度スキー教えてやるから 1 週間位仕事を休めないか？と誘われた翌冬「おい俺ガンになっちゃったよ、スキーだめだ すまん」この電話が先生と交わした最後の言葉でした。

●杉浦 俊幸 <昭和 48 年卒>

高校、大学とラグビー部でした。高校 OB 会発足しました。TV では OB の濱田岳さんが活躍され喜ばしい限りです。

●新井 一弘 <昭和 58 年卒>

卒業から 40 年間、母校に行く機会はありませんでした。でもゲーグルストリートビューで母校周辺をたまに眺めて、懐かしんでいます。

●押賀 充則 <平成 15 年卒>

病院薬剤師として日々頑張っており、いつの間にか白髪が増えました。休日に子供と遊ぶことが生きがいです。モンチ、ユウくん、ムトウ、ヒロボー、ハマ、また遊びましょう。久々に母校にも行きますか。

●國川 泰伴 <平成 15 年卒>

卒業して早 20 年、小さな会社ですが中南米カリブへの車 / 機械関係の輸出やお酒の輸入を行っています。獨協中高の自由な学校風土が懐かしいです。どこかで会ったら乾杯しましょう！

物故者名簿 (『独協通信』99 号以降) ご冥福をお祈り申し上げます

卒業年	氏名	物故年月日	昭和 20 年	星野 明弘	2022/5/23	昭和 40 年	川島 基一	2022/8/15
			昭和 25 年	中嶋 眞治	2022/12/6	昭和 40 年	鈴木 泰久	2022/10/13
昭和 11 年	岡部 幹雄	1997/11/27	昭和 28 年	大平 隆三	2023/1/6	昭和 43 年	宇田川 武	2022/6/10
昭和 11 年	揚 基文	2003	昭和 28 年	松永 一弥	2021/4/1	昭和 43 年	室谷 裕一	1990/6/8
昭和 18 年	佐々木 亮嘉	2021/8/1	昭和 31 年	中久木宏行	2022/4/18	昭和 44 年	三浦 利夫	
昭和 18 年	田島 誠	2022/8/26	昭和 32 年	三須 孝彦	2022/12/1	昭和 45 年	馬島 徹	2022/10/5
昭和 19 年	塩崎 國夫	2022/10/5	昭和 37 年	宮下 文平	2022/8/18	昭和 46 年	石井 康利	2023/2/12
昭和 20 年	小林 正樹		昭和 40 年	大滝 勝啓	2022/4/17	昭和 51 年	林 輝彦	2023/1/17

～甲状腺を病む方々のために～

ITO HOSPITAL 伊藤病院

院長 伊藤公一 (昭和51年卒)

TEL. 03-3402-7411 東京都渋谷区神宮前4-3-6 www.ito-hospital.jp

NAGOYA 名古屋甲状腺診療所

TEL. 052-252-7305
名古屋市中区大須4-14-59
www.kojin-kai.jp/nagoya/

医療法人社団甲仁会
理事長 伊藤公一

SAPPORO さっぽろ甲状腺診療所

TEL. 011-688-6440
札幌市中央区大通西15丁目1-10 ITOメディカルビル札幌5F
www.kojin-kai.jp/sapporo/



医療法人社団

野村会 昭和の杜病院

東京都昭島市宮沢町 522-2

理事長 野村芳樹 (昭和54年卒)

医療療養型 180床・透析ベッド 36床
入院 (一般内科・透析)・外来透析・各種健康診断随時ご相談ください

TEL 042-500-2611 FAX 042-500-2612

SASAKI LAW OFFICE 佐々木綜合法律事務所

東京都千代田区神田須田町1丁目26番 芝信神田ビル10階
TEL 03-3255-0091 FAX 03-3255-0094

相続・不動産・企業法務など
さまざまなお悩みを承っております。



お気軽に
お問合せ
ください

東京弁護士会所属
弁護士 佐々木 広行 (昭和61年卒)
[平成28年度 東京弁護士会副会長]

法人経営者及び個人事業主の経営・会計アドバイザー

中島達弥

病院等の医療機関も含めたあらゆる業種の
会計監査、顧問に加え社外監査役や監事も承っております

(略歴)
1990.10 ~ 2020.6 : 有限責任監査法人トーマツ(パートナーを経験)
2020.7 ~ : 中島達弥公認会計士事務所開設
会計監査、顧問及び社外監査役として協働中

中島達弥公認会計士事務所

S61卒

mobile : 090-3478-8233

e-mail : tat.nakajima@ms01.jicpa.or.jp



院長 清水 崇裕 [平成17年卒]

薄毛治療ならベアAGAクリニック

◆薄毛でお悩みの獨協卒業生の皆様、お気軽にご連絡ください

〒160-0022 東京都新宿区
新宿3丁目14-22 小川ビル4階

獨協割あり・ご予約はこちらから▶
TEL:03-5925-8241 *木・祝 休診



保管にお困りの「思い出の品」はありませんか？

制服制帽・教科書・名簿・アルバム・記念メダルなど
資料センターでは獨協の歴史を未来に残す活動をしています。
ご提供頂けます資料がありましたら同窓会事務局
までご連絡ください。



獨協学園史資料センター (獨協大学内)

編集後記

獨協同窓会は、昭和5年に創立されました。最初の卒業生は明治21年(1888年)ですから彼らが55歳を過ぎる頃に発足した訳です。

本独協通信は、今回第100号を迎えることが出来ました。ホームページには62号から掲載されています。現在のようにA4版カラー印刷になったのは、平成21年(2009年)73号からです。この転換が他の獨協グループの同窓会報に劣らない立派な会誌に発展を遂げたのだと思います。当時ご尽力頂いた諸先輩方に感謝申し上げます。中でも、学校の歴史について趣きを置き高いクオリティーの記事掲載に情熱を注がれた櫻田可人さん(S40卒)の存在は、小生が独協通信、獨協祭への取り組み方を考える上で強い影響を受けました。

一方、デジタル化が進む中で年2回の発刊を継続するには\$が必要です。7ページの会計報告をご覧ください。年会費納入率は全会員の15%足らずです。お心当たりの皆さま！是非行動を起こしてください。



4月23日、白馬野平の一本桜を撮りに出かけましたが、例年より1週間早く満開を迎え、散った後でした。しかし青空に恵まれ、唐松岳・五竜岳を背景に南小谷行き「特急あずさ5号」が通り過ぎるのを捉える事が出来ました。(白馬 - 信濃森上)

沖山